

改造を施した 100 年以上前の旧式織機と技術で  
世界でも類を見ない独創的な織物を創造する工房

## 株式会社工房織座

かぶしきがいしゃこうぼうおりざ

### 会社情報

所在地 愛媛県今治市玉川町鬼原甲 55

電話番号 0898-55-2564

HP <https://oriza.jp/>

設立 2010 年

代表者 代表取締役 武田 正利

従業員数 12 人



### 会社概要

タオル産地として有名な愛媛県今治市で 2005 年に創業。革新織機が主の今治において、古くは 100 年前のシャトル織機を復元、独自に改造し、独創的な織り方や形のマフラー・キャップをつくり続ける工房である。染色以外は一貫で製造が可能。自社ブランドを主に製造販売をしている。代表的な服飾雑貨ブランド「kobo oriza」他、タオルブランド「水布人舎」、日用雑貨ブランド「CUON: E」を展開。



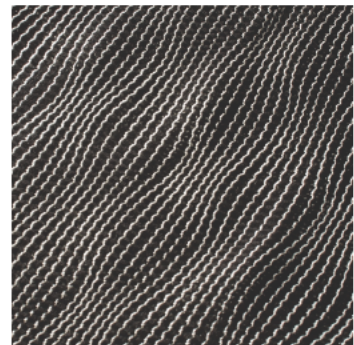
### 選定分野



技術力やデザイン力による付加価値の創出

シャトル織機を独自改造、そのアイデアと高い技術力で販路拡大

創業前より構想のあった「たてよこよろけもじり織り」。織物の基本であるたて糸とよこ糸はまっすぐという常識を覆した世界初の織物は、100 年前の「豊田 Y 式」織機を独自に改造を施し、試行錯誤を重ねて 2007 年に量産に成功。「2009 ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞」にも選出された。2016 年の「アンビエンテ」出展の際、欧州でも高い評価を得て、海外取引も始まった。また、もう一つの代表商品、意匠登録 (1296495 号) も取得している「コットンキャップ」は創業時から現在も生産を続けている。シャトル織機のよこ糸がつながったまま往復で走る機構に着目し、二重綾織りの技術を応用して形作った完全無縫製仕上げである。同社の撚糸機を用いて強撚糸という綿でも伸縮性のある素材を研究し、縮み具合など調整に調整を重ねて、ほどよく頭にフィットして締め付け感のないコットン 100% のキャップの量産化に成功。肌あたりよく蒸れにくい上、洗濯が容易。加えてリバーシブルでキャップ、ネックウォーマー、ターバン、ミニマフラーなど自在に 8WAY で使える。年々出荷量が増え、海外でも販売されているロングセラーアイテムである。その他にも独自のアイデアが詰まった商品を多数展開。一般的に製造業は量産効率化を図る傾向が強いが、人口減少と多様化する時代の先を見据えての真逆の考えから所有する織機 9 台すべてに改造を施し、各々に個性を持たせている。多彩な織りを生む技術力と、社内の撚糸機を活用した自社素材の開発力が売上の向上につながっている。



たてよこよろけもじり織り